

愛知学院大学歯学部倫理委員会

令和 6 年度第 3 回会議 次第

令和 6 年 9 月 12 日（木） 15 : 00～

I. 報 告 事 項

1. 令和 6 年度第 2 回倫理委員会議事録（案）（令和 6 年 7 月 11 日）
2. 委員長決裁について（ 4 件：受付№.818、829、839、845）
3. その他

II. 審 議 事 項

1. 新規申請の審査（6 件：受付№.840、841、842、843、844、846）
2. 承認した課題（受付№.827）の審査結果追加通知について
3. 「ヒト遺伝子解析」計画変更・追加申請書(遺伝子解析様式 8) の継続利用について
4. 歯学部倫理委員会 申請の手引き（案）について
5. その他

令和6年度 歯学部倫理委員会 名簿

	氏 名	所 属 等	委員区分(選出母体)	任期
○	鈴 木 崇 弘	生化学講座教授	規程第4条(1)基礎系講座専任教員	2023.4.1～2025.3.31
	永 井 亜希子	解剖学講座准教授	〃	2023.4.1～2025.3.31
◎	長谷川 義 明	微生物学講座教授	〃	2023.4.1～2025.3.31
	池田 やよい	解剖学講座教授	〃	2023.4.1～2025.3.31
	杉 田 好 彦	口腔病理学・歯科法医学講座准教授	〃	2023.4.1～2025.3.31
	後 藤 満 雄	口腔顎顔面外科学講座教授	規程第4条(2)臨床系講座専任教員	2023.4.1～2025.3.31
	野 本 周 嗣	外科学講座教授	〃	2023.4.1～2025.3.31
	成 瀬 桂 子	内科学講座教授	〃	2023.4.1～2025.3.31
	田 渕 雅 子	歯科矯正学講座准教授	〃	2023.4.1～2025.3.31
	高 木 敬 一	本学法学部客員教授	規程第4条(3)倫理学・法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者	2023.4.1～2025.3.31
	黒 神 聰	元本学法学部教授	〃	2023.4.1～2025.3.31
	伊 藤 友 也	元中部大学職員	規程第4条(4)研究対象の観点を含めて一般の立場から意見を述べることのできる者	2023.4.1～2025.3.31
	鏡 山 典 子	元愛知教育大学職員	〃	2023.4.1～2025.3.31

◎委員長 ○副委員長

令和6年度 第3回歯学部倫理委員会
インターネット公表一覧

1	実施責任者	阿部 厚
	研究課題	愛知学院大学歯学部附属病院におけるインシデント分析
	概要	公表不可
2	実施責任者	阿部 厚
	研究課題	愛知学院大学歯学部附属病院顎関節外来における顎関節上関節腔洗浄療法の臨床的検討
	概要	公表不可
3	実施責任者	阿部 厚
	研究課題	下顎第三大臼歯抜歯後の術後食事摂取量減少の原因因子について
	概要	公表不可
4	実施責任者	前田 初彦
	研究課題	宇宙環境で予想される咬筋委縮に対する予防的機能訓練の模索
	概要	通常、宇宙飛行士の帰還後には骨格筋に15～20%の筋委縮が認められるとの報告があり、宇宙環境でのリハビリや予防策が研究されている。 咬筋は食事行為に最も重要な筋組織であることは周知であるが、その機能低下に対する予防的訓練やリハビリを宇宙環境では確立されていないことも事実である。 機能回復のための訓練として、ガム、グミを活用した直接訓練が簡便であると考え、その効果に関する諸項目を検証し、更に減衰した機能の改善と維持のために電気刺激デバイス等の使用も検討していく。
5	実施責任者	近藤 尚知
	研究課題	洗口液の歯周組織、インプラント周囲組織および口腔衛生状態に及ぼす影響
	概要	広く普及している洗口液のほとんどが口腔衛生状態の対する効果を客観的に評価しておらず、過去の報告についてもエビデンスレベルが高いとはいえない。本研究では、洗口液(モンダミンワンショットプロ;アース製薬株式会社製造販売)の歯周組織と口腔衛生状態に対する効果を臨床的に評価する。本研究の結果は、歯周組織、インプラント周囲粘膜の長期安定に寄与できる可能性があり、国民の健康と歯科医療の発展につながるものとする。 また、洗口液の効果についての評価を行うことで、インプラント周囲炎および歯周病の治療に関する新しい知見を得ることができるとも考えられる。軟組織の状態などについて、公益社団法人日本口腔インプラント学会が提唱する「インプラント治療のためのチェックリスト」に記載されている項目を基準として臨床的評価を行う。
6	実施責任者	伊藤 高行
	研究課題	ヒト横隔神経の有髄神経軸索数の加齢による影響
	概要	公表不可

令和 6 年度第 3 回歯学部倫理委員会議事録（案）

日 時：令和 6 年 9 月 12 日（木） 15 時 00 分

場 所：歯学部基礎教育研究棟 第 1 会議室

出席者：長谷川、鈴木、池田、杉田、後藤、高木、黒神、伊藤、鏡山 （事務）磯部、永田

欠席者：永井、野本、成瀬、田淵 （事務）日比

開 会：15 時 00 分

I. 報告事項

1. 令和 6 年度第 2 回倫理委員会議事録について

委員長から、資料に基づき報告があり、原案どおりこれを了承した。

2. 委員長決裁案件について

委員長から、継続審査となっていた 2 件（受付No：818、829）、計画変更 1 件（受付番号：No.839）、一括審査 1 件（受付No：845）について、申請書類等の審査を行い、委員長決裁による承認とした旨、報告があった。

3. その他

なし

II. 審議事項

1. 新規申請の審査 6 件について

委員長から提議され、新規 6 件（受付No：840、841、842、843、844、846）の申請があり、申請者から研究の概要及び実施計画等の説明を受け判定したい旨述べられ、これを了承した。

次いで、申請者から資料に基づき説明があり、研究実施計画等について質疑応答があった。申請者退席後、申請課題について審議した結果、6 件すべて全会一致をもって継続審査とした。

なお、受付No.846 については健康科学部からの申請であるが、以下 3 点の理由により特別に歯学部倫理委員会にて審査を引き受けた。①歯学部の教員が共同研究者である。②歯学部解剖学講座が管理する献体を使用する。③健康科学部教授会にて承認されている。

2. 承認した課題（受付No.827）の審査結果追加通知について

令和 6 年第 2 回倫理委員会にて委員長決裁案件として報告した受付No.827「自己接着性レジンセメント及びプライマー併用型レジンセメントを比較対象とした修復装置装着の予後に関する評価」について、委員長より追加の修正通知案の説明があり、これを承認した。

3. 「ヒト遺伝子解析」計画変更・追加申請書（遺伝子解析様式 8）の継続利用について

委員長から資料に基づき説明があり、「ヒト細胞・組織・遺伝子・疫学情報倫理委員会」は倫理委員会に統合されているが、「ヒト遺伝子解析」計画変更・追加申請があった場合は、今後も継続して（遺伝子解析様式 8）を利用することを承認した。

4. 歯学部倫理委員会 申請の手引き（案）について

事務担当者から資料に基づき説明があり、委員長から次回倫理委員会にて意見を求める旨の説明があった。

5. その他

なし

次回委員会について

日時：令和 6 年 11 月 7 日（木） 15 時

場所：楠元キャンパス 基礎教育研究棟 1 階 第 1 会議室

閉 会：18 時 30 分